

合唱祭に学ぶ～壁を乗り越えた先に「感動」がある～

暦の上では冬となり、夜寒を感じる頃となりました。先週は学校でも教室のストーブの試運転を行うなど冬への備えも進めています。

11月16日(水)に、3年ぶりの開催となる「合唱祭」を行いました。3年生にとっては最初で最後の合唱祭となりました。短い練習期間のなかであり、またコロナの感染対策を行いながらの制限のある練習でしたが、生徒たちは自分たちのクラス合唱をつくりあげようとよく努力を重ねていました。どのクラスもクラス全員で取り組む合唱練習から決して逃げようとはせずに、数々の壁を乗り越えて合唱祭の本番を迎えました。全員が真剣な表情で、そして前向きな心と姿勢で舞台上に立っていました。そして、どの学年も、どのクラスも力を出し惜しむことなく最後まで全力で歌いきっていました。

*みんなで歌う合唱 みんなで歌うから みんなが主役 みんなで一丸となって 互いの力を信じて歌う
全員が信じ合うことで はじめて合唱は心に響く 仲間と何かを成し遂げて
初めて味わえる感動 そして達成感 この体験ができることはなかなかない
合唱は玉中生に大切なことを教えてくれた*

当日は、保護者の方々にもお聴きいただきたいと学年ごとに入替をさせていただきながら、参観していただきました。さらに、長年に渡り、高校教員として勤務し、合唱指導を行い、現在も青洲高校の合唱部の指導をなさっている落合節子先生を講師としてお招きし、ご指導をいただきました。すべての学年合唱に、全てのクラスに心温まる励ましの言葉やお褒めの言葉をいただきました。



<講師の落合先生から>

こんな学校はなかなかないですよ。とにかくすごい、感動をたくさんもらいました。私もこれまでたくさんの学校の合唱を聴いてきましたが、コロナ以降、回数も減り、寂しい発表が多くなっていました。しかし、玉幡中学校は違う。こんな素敵な素晴らしい学校があることを私は伝えていきたいです。きっと先生方の指導が素晴らしいんですよ。温かい、そして真剣に取り組もうとする雰囲気、全校生徒から感じられ、空気感が他の学校と違っていました。特に3年生の発表は1、2年生にすごい宝物を残してくれました。保護者の方々にも聴いていただいてよかったですね。開催を決断された勇氣に、そして想いのたくさんこもった合唱に感謝し、私自身元気をいただきました。素晴らしい時間をありがとうございました。

<生徒の感想>

☆はじめての合唱祭。学級合唱は練習では全然パートや全体で声がまとまらず苦戦していました。「YELL」はそれぞれのパートでソロがあり、一人一人が本気で練習しないと完成できない、かなり難しい曲でした。まず

はパートリーダーを中心にパートで声を合わせました。ソプラノは高い音が多く、きれいな裏声をたもち、同時に音程もたもつのでとてもたいへんでした。私は途中から伴奏の方に入り、みんなと一緒に歌うことはできなくなったけど、少しでもみんなのサポートができるように、ピアノで音程をとったりしました。合唱祭当日、私の伴奏からはじまり、ソプラノ、アルト、テノールと声が重なるにつれ、体育館に2年2組のハーモニーがひろがりました。曲名の通り、全校に愛と勇気を届けられてよかったです。(2年2組 武田茉依さん)

☆合唱祭では短い練習期間で頑張りました。本番では体育館はとても寒く緊張しました。けど今まで頑張ってきた成果をむだにはしたくなかったので練習以上の声を自分なりに出しました。1-4全員で体育館に「大切なもの」の歌声を響かせることができたと思います。先輩方の歌はとてもかっこいいと思いました。2年生の歌は、これで1年しか変わらないのかとビックリしました。3年生の歌は本当に感動しました。緑水祭の時よりすごかったと思います。受験生で忙しい中、あんなに力強いかっこいい歌ができるなんてさすが3年生だと感心しました。来年、そして2年後には私たちも先輩方のような、ああいう合唱ができるようになりたいと思いました。(1年4組 米長真穂さん)

☆練習期間が短いからこそ、時間を大切に一日一日を無駄にしないようにと思いました。私が今まで弾いてきた曲の中で一番思い出深い曲になりました。初めて楽譜が配られたとき、楽譜の枚数に驚きました。そして家で合唱を聴いたときとても感動しました。実際に弾いてみると難しく、つまずいてばかりでしたが、指揮者を中心にクラスのみんなの歌声がリードしてくれて無事に本番は大成功することができました。これほどに感情を込めて歌う、弾く曲はないと思います。この合唱をみんなとつくりあげることができてよかったです。飯室先生が私にこの曲の楽譜を渡してくれたことをきっかけに、こんなにもみんなと一緒に頑張ろうと思うことができました。先生からのやりとり帳などでの応援は、私に勇気を与えてくれました。ありがとうございました。(3年2組 窪田千尋さん)

小学校への出前授業と菊池省三先生による師範授業について

本校は、昨年度まで山梨県教育委員会と甲斐市教育委員会より小中連携研究推進校の指定を受け、玉幡小学校・竜王西小学校の3校で研究を進めてきました。教職員同士で互いの学校の授業研究会に参加し、同じ授業を観て、意見を交わす、よいところは自校で実践していく、そういう取組も行ってきました。本校で行っている“夕学”も、この小中連携から小学校へ広がっていったと聞いています。今年度も小中連携については継続し、その一環として昨年度と同様に「中学進学への橋渡しに」と、15日(火)に校区にある2校(玉幡小学校・竜王西小学校)で、6年生対象に来春からの中学校での新生活について話す出前授業を、中学校3年生の代表(三浦壮真さん、中村夢吹さんのペア、大沼優希さん、雨宮清香さんのペア)が行いました。6年生に対して、中学校生活への不安を少しでも解消し、希望と期待をもってもらうと企画しました。小学校と中学校との違いや自分自身の経験も話してくれました。また本校で帰りの会で昨年度から実施している「フリートーク」についてもその場で体験してもらいました。授業を参観していただいた先生方からは、4人の生徒が本当にわかりやすく中学校生活を話す様子や自分自身の経験を自分の言葉でしっかりと話す姿に、たくさんの賞賛の声をいただきました。授業には、5月にも来校いただき師範授業等でご指導いただいた教育研究家の菊池省三先生にもアドバイザーとして参加いただきました。授業の後半は、菊池先生が中学生に質問しながら、ユーモアを交えた会話で場を盛りあげながら、6年生の児童から中学校への期待の言葉と拍手を引き出してくれました。また、5校時には、菊池先生に本校の3年生全クラスの生徒への特別授業をしていただきました。卒業まであと4ヶ月弱となった3年生へエールを贈っていただき、感動的な授業でした。たくさんの学びを3年生の生徒たちに、私たちに与えていただいた素敵な時間となりました。(11月16日の読売新聞に掲載されています。尚、中学生による出前授業は竜王南小でも来月実施予定です。)

